

茨城県市長会 表彰



3月29日、水戸京成ホテルで、地方自治の振興発展などに寄与された方を対象に「茨城県市長会自治功労者表彰式」が行われ、横島隆さん（辺田）と古塚文子さん（岩井）が表彰を受けました。

横島さんは、岩井市・猿島町合併協議会委員や区長などを歴任。現在は、ボランティア活動として、街路樹の維持管理作業を行うなど、市の環境保全活動に貢献されています。古塚さんは、岩井地域審議会委員や民生委員児童委員などを歴任。現在は、更生保護女性会顧問として、非行のない明るい地域づくりに貢献されています。

わくわく美術展

県知事賞 受賞



田村洋子さん（大馬新田）が、第26回茨城県健康福祉祭「わくわく美術展」洋画の部において、最高賞である「茨城県知事賞」に輝きました。「希望Ⅲ」と題した作品は、

田村さんが長年テーマとして描き続けているひまわりを題材としており、コロナ禍の中で、未来に希望を持ちたいという思いで描いたそうです。同美術展は、満60歳以上の方が制作した作品を展示し、文化活動の育成を通して、生きがいと社会参加の促進を図ることを目的に、県が毎年開催しています。おめでとうございます。

卒業を前に

給食センターに感謝



3月9日、卒業を控えた猿島中学校の生徒たちが猿島給食センターを訪れ、小学校入学から9年間、給食を提供してくれた調理員さんへお礼の気持ちを込めて、花束を贈りました。

当日は、卒業生を代表して生徒会の5人がセンターを訪問。調理員さんに「毎日給食を楽しみにしていました。卒業後は県外に進学となりますが、茨城県産の農産物を使った給食の味は忘れません。」と、感謝の想いを伝えました。

いばらきっ子郷土検定オンライン交流会



2月24日、いばらきっ子郷土検定オンライン交流会（県教育委員会主催）が開催され、東中学校2年生の代表7人が参加しました。

交流会は、昨年に引き続きコロナウイルスの影響で中止となった「いばらきっ子郷土検定県大会」の代替えとして開催。各市町の代表校が参加し、茨城県に関するクイズで競い合うなど、楽しみながら県の伝統・文化を学びました。参加した石塚さんは、「市代表として、一問一問仲間と協力しながら楽しんで取り組むことができました。市の魅力も紹介することができた。とても貴重な経験になった。」と感想を話してくれました。

交流会で出題された問題の一部

- Q1 令和3年6月、アクアワールド茨城県大洗水族館において、日本で初めて繁殖に成功した絶滅危惧種のサメはどれでしょう。  
①ネコザメ ②シロワニ ③ツマグロ ④イヌザメ
- Q2 近代日本画壇の巨匠で、第1回文化勲章を受章し、茨城県名誉県民になった水戸市出身の人物は誰でしょう。  
①板谷 波山(はざん) ②長谷川 五郎  
③中村 彝(つね) ④横山 大観

答え Q1②シロワニ Q2④横山 大観

★いばらきっ子郷土検定

子どもたちの郷土への愛着心や誇りを育てるために、中学2年生を対象に実施している茨城県独自の検定です。

息子や孫を装い、「電話番号が変わったから登録しておいて」は詐欺です